

# 全国統一小学生テスト 対策授業

国2  
年生  
語生

＊  
物語ものがたりを読よもう！

★「いついつ（時とき）」を讀よみとろう

あさ・きよう・きよねん・なつ・五年前まえ など

（れい）きのうの 夕方 おばあさんに 電話でんわを した。

★「どこどこで（場ば所しょ）」を讀よみとろう

学校がっこうで・海うみで・にわで・アメリカで・へやで など

（れい）昼間ひるま、ぼくは 公園こうえんの 木きの 下したで 本ほんを 讀よんだ。

★「だれだれが（登とう場じょう人じん物ぶつ）」を讀よみとろう

★「どうどうした（できできごと）」を讀よみとろう

4つのポイントに  
ちゅうもくしながら、  
讀よんで いこうね。





文しょうもんだいに チャレンジ！

## あめだま

春のあたたかい日のこと、わたしぶねに二人の小さな子どもをつれた女のたび人がのりました。

ふねが出ようとすると、

「おうい、ちよつとまってくれ。」

と、土手のむこうから手をふりながら、さむらいが一人走ってきて、ふねにとびこみました。

ふねは出ました。

さむらいはふねのまん中にどっかりすわっていました。ぽかぽかあたたかいので、そのうちにいねむりははじめました。

黒いひげを生やして、つよそうなさむらいが、こっくりこっくりするので、子どもたちはおかしくて、ふふふとわらいました。

おかあさんは口にゆびをあてて、

「だまっておいで。」

と言いました。さむらいがおこってはたいへんだからです。

子どもたちはだまりました。

しばらくすると一人の子どもが、

「かあちゃん、あめだまちょうだい。」

と手をさしました。

すると、もう一人の子どもも、

「かあちゃん、あたしにも。」

と言いました。

おかあさんは、ふところから紙のふくろをとりだしました。ところが、あめだまはもう一つしかありませんでした。

「あたしにちょうだい。」

「あたしにちょうだい。」

二人の子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つし



30

かないので、おかあさんはこまってしまいました。「いい子だからまっておいで、むこうへついたら買ってあげるからね。」と言ってきかせても、子どもたちは、ちょうだいよう、ちょうだいよう、とだだをこねました。

いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。

おかあさんはおどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、<sup>おも</sup>と思いました。

「おとなしくしておいで。」

と、<sup>エ</sup>おかあさんは子どもたちをなだめました。

けれど子どもたちはききませんでした。

すると<sup>オ</sup>さむらいが、すらりと刀<sup>かたな</sup>をぬいて、おかあさんと子どもた

ちの前<sup>まえ</sup>にやってきました。

おかあさんはまっ青になって子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころす<sup>おも</sup>と思ったのです。

「あめだまを出せ。」

とさむらいは言いました。

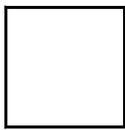
おかあさんはおそるおそるあめだまをさしだしました。

45

新美 南吉 作「飴だま」より

問

お話<sup>はなし</sup>に出てきた人はぜんぶで何人<sup>なん</sup>ですか。かん数字<sup>すう</sup>で答え<sup>こた</sup>ましょう。



人

問二 お話のばめんについて、文しよう中のことばを書きぬいて答えましょう。

☆ 「いつ」のことですか。

--

☆ 「どこ」のことですか。

--

の上

問三 —ア「さむらい」はどのようなさむらいですか。□にあてはまることばを文しよう中からさがして書きぬきましょう。

--	--	--	--	--

を生やして、

--	--	--	--	--

さむらい

問四 —イ「さむらいがおこってはたいへん」とありますが、なぜおかあさんはさむらいがおこると思っただのですか。文しよう中のことばをつかって答えましょう。

--

問五 —ウ「あめだまは一つしかないの、おかあさんはこまってしまいました」とありますが、なぜあめだまが一つしかないとこまるのですか。文しよう中のことばをつかって答えましょう。

--

問六——エ「おかあさんは子どもたちをなだめました」とありますが、このときのおかあさんの気もちとしてあっているものをつぎからえらび、( ) ( ) に○をつけましょう。

( ) ( ) ねむっていたさむらいが、子どもたちが少しだだをこねてさわいだくらいで目をさましたので、おどろいている。

( ) ( ) 「むこうへついたら買ってあげる」と言っているのに、なかなかだだをこねるのをやめない子どもたちにおこっている。

( ) ( ) だだをこねる子どもたちに「いねむり」をじゃまされたさむらいが、これいじょうおこらないように、子どもたちをはやくしずかにさせようとあせっている。

問七——オ「さむらいが、すらりと刀をぬいておかあさんと子どもたちの前にやってきました」とありますが、この時おかあさんはどう思いましたか。文しゅう中のことばをつかって答えましょう。

おまけ このあとさむらいはどうすると思えますか。  
じゅうに考えて書きましょう。

# あめだま じじき

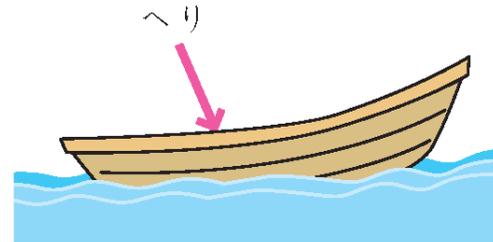
さむらいはそれをふねのへりにのせ、  
刀でパチンと二つにわりました。

そして、

「そうれ。」

と二人の子どもにわけてやりました。

それから、またもとのところにかえ  
って、こっくりこっくりねむりはじめ  
ました。



★ **かん字のもんだいにチャレンジ!** ①

★ **かん字のじやびんご**

どのことばもつながるように、○の中にかん字を入れましょう。

①

だんご  
こん

かご

③

よう日  
のみば  
中めがね

⑤

びん  
よめ  
だん

⑦

よう日  
もち

②

ふり  
やどり  
あがり

④

ふじ  
のぼり

⑥

校  
年  
しゅう



⑧

ざっ

原

★ちょうせん★

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	れい 天
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	女
は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
体がほそながくて、 たくさん足の足がある虫	はなのさくくさ、また、 くさにさいているはな	本をよむこと	いねをつくるために みずを入れたたんぼ	ことばをかきあらわす ためのきごう	大きな木がたくさん あつまって生えている ところ	しごとやがっこうが やすみのひ	先生がせいとにちしきや ぎじゅつをおしえるところ	てんにすむといわれる うつくしい女の人		

★じゅくじゅく

下にあるかん字をつかかって、の中のいみをもつじゅくじゅくをつくり  
ましよう。( )にはよみかたを書いてね。

★かん字のもんだいにチャレンジ！②



学	森	字	校	足	草	書	水	天
読	田	林	休	花	百	文	日	女

★  
こんなとき、なんて言う？

□の中に○からあうことばをえらんで書いてね。

① □、ニューヨークに行ってみたいなあ。

• あの子は □ 学校にちこくする。

いつも  
いつか

② • いそいで店まで走った。  
• へい店する前に、牛にゆうが買えた。

• たくさんれんしゆうした。  
• いいきろくが出せなかった。

だから  
だけど

③ • いそいで店まではした  
• へい店する前に牛にゆうが買えた。

• けいさんれんしゆうした  
• いいきろくが出せなかった。

けれど  
から

④ • へやのそうじがおわった。  
• おにいちゃんは今、何をしているんだろう。

• じゆくへ行った。  
きようは休みだった。

ところで  
ところが